

ご新規さんいらっしゃ〜い！ 原木乾しいたけ生産参入者講習

かつて乾しいたけの主産地だった遠野。現在では生産量、生産者数ともに減ってしまいました。そこで、数年来の良好な市況を追い風に、新規生産者数を増やし、頑張っている生産者さんとの連携を強めようと、10月19日に、市内のショッピングセンターで、遠野農林センター主催（市しいたけ産業推進協共催）のしいたけ栽培講習会を開きました。

一般参加者は7名で、うち4名は筆者よりも年下です。また、生産者の子弟も2名参加しました。さらに、ベテラン生産者も参加し、関係機関からの参加者とともに、心強くも研修をサポートしてくれました。

講習の内容は①乾しいたけに関する情勢②シイタケ菌の性質③乾しいたけ原木栽培技術④経営試算です。①では最近の市況、遠野市の生産量の推移などについて、生数字を織り交ぜながら講義しました。受講者は、岩手県産の乾しいたけが他県産よりも高値で取引されている点に聞き入っていました。②では、菌糸の伸長に適した温度とホダ木の含水率、原基形成から発生に至る過程などを講義した後、実際のホダ木を観察しました。外樹皮直下の白い菌糸や原基、樹皮の割れ目から顔を覗かせる幼子実体に、興味が集まりました。③では、原木の伐採からきのこの販売までの各工程をパワーポイントで見せた後、「岩手県野菜栽

培技術指針」をテキストとして、補足しながら講義しました。仮伏せ、発生後の管理（防風、被覆）に講義の重点を置きましたが、準備不足は否めず、理解して貰えたか不安が残ります。最後に④では、原木調達方法により「自家山林/自力伐採」「立木購入/自力伐採」「原木購入」の3パターンに類別された経営型について、それぞれ年間収支の推移を示し、原木購入では資金の回収に要する期間が長くなること等を述べました。さらに、管内の一般的な経営型と思われる「立木購入/自力伐採」について、月別労働時間を示したところ、他の作物との組み合わせについて受講者（新規就農者）と議論を交わすことができました。

次回（11月）は、今回の受講者を対象に、ホダ場で発生状況、乾燥、原木伐採の見学と意見交換を行います。さらに来年3月には、植菌と仮伏せの実習を行います。なお、植菌したホダ木の栽培は、生産者のホダ場を借りて行う予定です。



ホダ木を観察する受講者